

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

[↑操作ボタン](#)

講義科目名称 : コミュニケーション心理学

授業コード : 24021

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期: 火曜4限			
配当学科・学年			
人社1			
担当教員			
安田 傑			

授業テーマ	教育的活動において役立つ心理学を学ぶ。
講義概要	中学・高校教員の免許状取得のために必要な科目の一環として、教育に関する心理学的な知識を習得する。 また、中学・高校の範囲にとどまらず、それ以外の日常的・社会的場面での教育活動において役立つ心理学的知識を習得する。
到達目標	教育心理学の基礎的な理論を、中学・高校・その他の日常的な場面で役立つように応用できる。
評価方法	小テスト52点(4点×13回) 期末試験48点
評価基準	小テスト: 当日の授業で扱った内容を理解している。 期末試験: 本授業で学んだ内容を統合した上で、応用・実践できる。
テキスト	藤田哲也(2007). 絶対役立つ教育心理学 実践の理論、理論を实践 ミネルヴァ書店 ISBN:978-4623048861
参考書	
履修上の注意	授業の終了時に、毎回小テスト(10分程度)を行います。(第1回、第15回を除く)
準備学習	必要な人は、事前に教科書の授業範囲を読んでおいてください。
オフィスアワー等	個別の質問は、授業後に受け付けます。 また、以下のメールアドレスでも受け付けます。 yasudamasa@osaka-ohst.ac.jp
備考・メッセージ	教員免許状取得に必要な教職に関する科目(教育の基礎理論に関する科目)

回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標
1	講義	安田 傑	オリエンテーション	授業内容の概要や、授業方針を知る
2	講義	安田 傑	学習のメカニズム1: 古典的条件づけ	外的刺激間の関係性の学習(古典的条件づけ)が、教育においてどのように機能するかを理解する
3	講義	安田 傑	学習のメカニズム2: オペラント条件づけ	自らの行動と結果の関係性の学習(オペラント条件づけ)が、教育においてどのように機能するかを理解する
4	講義	安田 傑	学習のメカニズム3: 観察学習	他者を観察することによる学習が、教育においてどのように機能するかを理解する
5	講義	安田 傑	動機づけの基礎	動機づけ(やる気)の基本的な性質について理解する
6	講義	安田 傑	動機づけの応用	動機づけを高める方法について学ぶ
7	講義	安田 傑	記憶の分類	時間に基づく記憶の分類法と、内容に基づく記憶の分類法を学ぶ
8	講義	安田 傑	記憶の理論を活かす	記憶力を向上させる方法を理解し、実践する。
9	講義	安田 傑	学習方略	学び方の違いによる効率の良し悪しについて理解する。
10	講義	安田 傑	メタ認知と学習観	自らの認知を観察対象とすることの意義と効果を理解する。
11	講義	安田 傑	発達理論	発達についての各種理論を知る。
12	講義	安田 傑	青年期の発達、障害の理解	青年期における発達理論について、深く理解する
13	講義	安田 傑	読解力の発達と教育	文章を理解する能力がどのように発達するかを知る
14	講義	安田 傑	社会性・道徳性	社会性や道徳性がどのように発達するかについて知る

15	講義	安田 傑	まとめ	今までの講義を振り返り、内容をまとめる。		
----	----	------	-----	----------------------	--	--

授業方法						
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)	
	講義	教室	1		90分×15回	

閉じる